



# 二輪草だより

平成29年8月号  
発行:二輪草センター

センターの活動予定 ◆9月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより9月号発行

## 第27回 二輪草セミナー終了報告

看護職キャリア支援職場適応支援担当 菊地美登里

7月7日(金)、“知っていますか?輝くナース”「中堅看護師が語る～心に残る看護エピソード」をテーマにセミナーを開催しました。卒後6年目の中堅看護師のお二人にお話しいただきました。参加者は30名で、改めて看護を深く考える機会となり充実したセミナーとなりました。

最初に、6階西ナースステーションの新田恵理さんは“叶えたい最後の言葉”と題し患者Nさんとのエピソードをお話し下さいました。Nさんは予後を告知されながらも、最後まで自分らしく生きることを貫いた方で、Nさんが望んでいることは何か、Nさんの事を知りたい力になりたいと真剣に向き合うことで、Nさんの価値観や素直な気持ちを話して下さいました。信頼関係があつてこそより良い看護につながっていくことをNさんから学んだと話されました。さらに、患者さんとの関わりに自信を持つことができ、看護師としての存在感とやりがいを感じたと話して下さいました。新田さんの真摯な思いとNさんとの心のつながりが見え、看護師として成長していく過程が良くわかるお話でした。

10階東ナースステーションの片桐実紀さんは、“家っていいな”のタイトルで、「最後は自宅で迎えたい」という患者Aさんの願いを叶えたいと希望している家族を中心に、見事なチームの連携があり自宅で看取ることができたエピソードを話して下さいました。改善の見込みがない厳しい状況の中で、チームが目標を一つにして決断し行動したことで、わずか2時間で自宅に帰ることができ、Aさんは妻・子供・孫に囲まれながら帰宅後2時間後に亡くなられたこと、妻はAさんとの約束を果たせたことをとても感謝していたことが話されました。患者・家族の願いを尊重することの大切さ、住み慣れた家で家族と共に過ごす幸せを教えていただいたと話されました。家族の思いをしっかり受け止めた片桐さんの姿勢が、Aさんを自宅で看取することに繋がったのだと思います。

今回のお二人のお話は、素晴らしい感性と看護観がにじみ出た感動するお話でした。心に残る患者との出会いは、看護師としての成長の機会を与えてくれると感じました。そして、患者自身の「生き方を決める」ことを支える大切さを学びました。何よりも、お話し下さったお二人が素敵に輝いていて、“看護”の素晴らしさを共有できた時間となりました。



## 夏休みキッズスクール終了報告

平成29年7月27・28日の二日間、第19回夏休みキッズスクールを開催しました。初参加7名を含む、総勢31名の子ども達が参加しました。

第1日目、最初のプログラムは麻酔・蘇生学講座の笹川智貴先生の特別授業「痛いのとんでけ!～神経と麻酔・手術のひみつ」です。スライドを使いながら、人が「痛い!」と感じる仕組みやそれを感じないようにする麻酔についてなど、ユーモアを交えて解りやすく教えて下さいました。その後は職業体験で、臨床シミュレーションセンターで人形を使用した模擬手術を行いました。引き続き笹川先生のご指導の元、麻酔や心電図を実践したり、学生扮する外科医の手術を見学したりと、普段見られない機器や道具に緊張しながらも目を輝かせて楽しんでいました。

午後からは「ぬいぐるみ病院プロジェクト」の学生による健康教育です。まず「楽しい森に潜む恐怖!？」と題する劇を通して、翌日の森林体験に向けて「森へ行く際の注意事項」をユーモラスに教えてくれました。また、「神経って何だろう?」という授業では感覚神経と運動神経の関係を学び、その後ゲームでそれを実感して楽しむことができました。体育館では鬼ごっこや縄跳び、バドミントンなどを大好きなお兄さんお姉さんと汗びっしょりになりながら夢中で遊び、美味しいおやつを食べて第1日目は終了しました。

第2日目は、末広にある「癒しの森」で森林体験ツアーです。NPO法人「もりねっと北海道」の佐野愉架さんにネイチャーガイドとしてご指導頂きました。午前中はネイチャーゲームで、【森には無い物探し】や【森林ビンゴゲーム】を楽しみました。最初は虫などに戸惑い気味だった子ども達もゲームを通して自然と触れ合う事で徐々に慣れ、虫や葉っぱを見つけては大喜びしていました。昼食は、自分たちで作った焼き立てのピザを食べました。他にも焼き芋や焼きトウモロコシ、焼きマッシュマロなどもあり、大満足の子供達でした。午後からは木の実や葉っぱなどを使ったランチョンマット作りです。材料を自分で探してきてから、それに絵の具で色を塗り、布に置いてバレンでこすって剥がすと・・・綺麗な模様がついています。置き方や色のグラデーションで全く違うデザインになり、それぞれとても素敵な作品が出来ました。最後は医大に戻り、閉校式で校長先生から終了証をもらって二日間のキッズスクールは終了しました。

今回も学生ボランティアの皆さんには大変お世話になりました。お忙しい中、18名の学生が参加して下さいました。

藤井智子教授をはじめ、いつも快く開催場所をお貸し下さる看護学講座の諸先生方、ご理解ご協力を頂いております各部署の皆様にも心よりお礼申し上げます。



### 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【7月20日～8月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	3回	稼働回数	3回
病児・病後児保育室	依頼回数	6回	利用回数	6回
カウンセリング相談			利用回数	5回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)  
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249  
開設時間8時30分～17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)  
ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

